

2014年4月16日
株式会社山陰合同銀行
株式会社日立製作所

山陰合同銀行、日立がクラウドで提供する ATMジャーナル集中管理サービスを導入し稼働を開始

ATM ジャーナル運用コストを大幅削減するとともに情報セキュリティを強化

株式会社山陰合同銀行(取締役頭取:久保田 一郎/以下、山陰合同銀行)は、このたび、株式会社日立製作所(執行役社長兼 COO:東原 敏昭/以下、日立)がクラウド*で提供する ATM ジャーナル集中管理サービス(以下、本サービス)を導入し、2014年4月1日から稼働を開始しました。ATM ジャーナルとは、ATM 内部にある ATM の取引内容を記録して保存するもので、本サービスは、電子化した ATM のジャーナルデータを取引完了のたびにリアルタイムに収集し、日立の Harmonious Cloud センタで集中管理するものです。

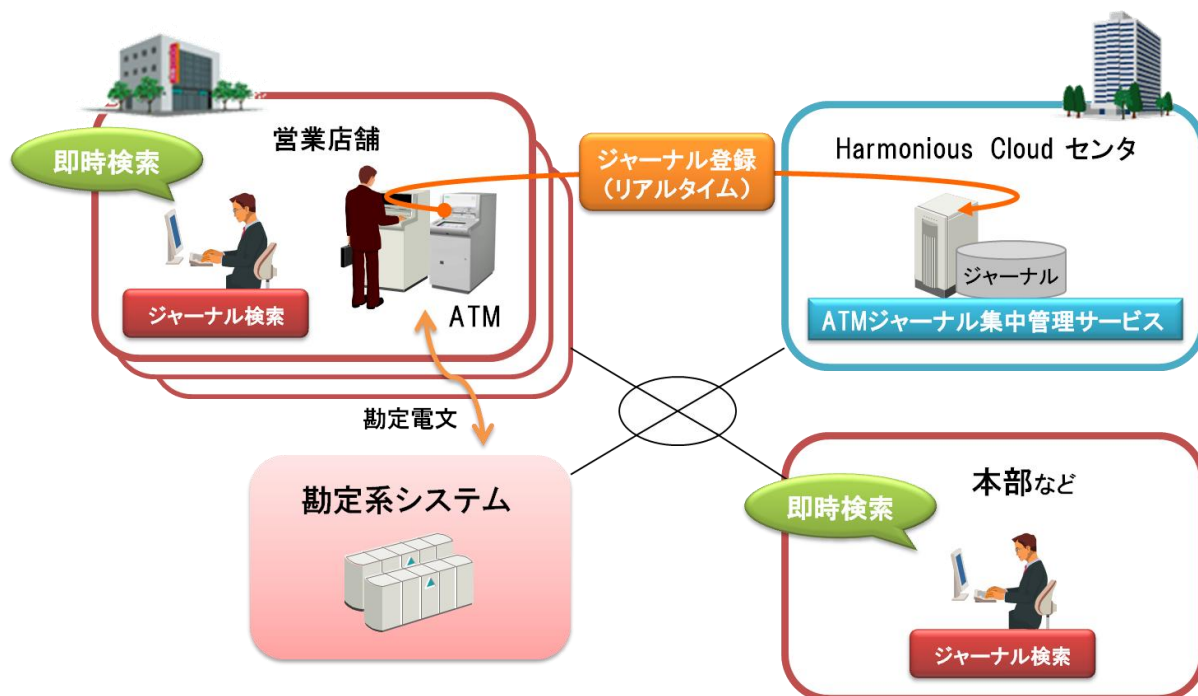
* 本サービスは、日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」(ハーモニアスクラウド)のラインアップである ATM クラウドサービスのメニューのひとつです。

山陰合同銀行は、本サービスの導入により、ATM 約 550 台において従来のジャーナル紙(ロール状の記録紙)でのデータ管理・運用を廃止することが可能となり、用紙の購入、交換、管理・搬送、廃棄といった ATM ジャーナル運用コストを大幅削減することができます。また、紙ジャーナル紛失や盗難等による個人情報や取引データの漏洩リスクを防止でき、情報セキュリティの強化が図られます。さらに、本部や各営業店などから最新のジャーナルデータをリアルタイムに検索・照会が可能のため、データ検索時間の短縮といった、業務負荷の軽減を実現するとともに、年間約 12トン(A4 用紙換算で約 300 万枚)の紙使用削減により、CO2 排出量削減といった環境負荷低減にも貢献します。

山陰合同銀行は、これからも営業店事務の効率化に取り組むことによって、お客さまと接する機会を増やし、より一層のサービス向上に努めてまいります。

また日立は、今後も ATM のさらなる利用価値向上に向け、ATM 運用の基本サービスに加え、金融機関ならびに ATM 利用者の利便性向上に寄与する新サービスの提供を順次拡大していきます。

■ サービス提供イメージ



■ 山陰合同銀行ホームページ

<http://www.gogin.co.jp/>

■ 株式会社日立製作所 金融ソリューション ホームページ

<http://www.hitachi.co.jp/finance/>

■ 日立クラウドソリューション「Harmonious Cloud」について

<http://www.hitachi.co.jp/cloud/>

■ 他社所有商標に関する表示

記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社山陰合同銀行 システム部 [担当:江藤]

〒690-0049 島根県松江市袖師町 6-10

TEL:0852-32-7515 (ダイヤルイン)

株式会社日立製作所 情報・通信システム社 金融システム営業統括本部 [担当:小清水]

〒100-8220 東京都千代田区丸の内一丁目 6 番 1 号

お問い合わせ先:<http://www.hitachi.co.jp/finance-inq/>

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
